

1. 基本情報

- (1) 国名：カンボジア
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名
シハヌークビル州プレイノップ郡
- (3) 案件名：対カンボジア草の根・人間の安全保障無償資金協力「シハヌークビル州カンボジアベトナム友好病院医療機材整備計画」（以下、「本計画」という。）
- (4) 計画の要約：

本計画は、同州カンボジアベトナム友好病院へ医療資機材の供与や施設の整備を行うことにより、同病院における医療サービスの質の改善を図り、もって周辺住民等への安全な医療環境整備に寄与するものである。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

カンボジアは、メコン地域の中央という地政学的に重要な場所に位置し、地域の安定と繁栄にとって大きな影響を及ぼす国である。カンボジアは、過去20年以上に亘り順調な経済成長と貧困削減を達成してきており、2016年7月には低中所得国入りを果たした。しかしながら、経済構造は依然として脆弱であり、都市部と地方部の格差等新たな課題にも直面している。我が国は、対カンボジア国別開発協力方針において、「2030年までの高中所得国入りの実現に向けた経済社会基盤の更なる強化を支援」を基本方針とし、「産業振興支援」、「生活の質向上」及び「ガバナンスの強化を通じた持続可能な社会の実現」を重点分野として定めており、当該計画は、「生活の質向上」に合致する。

特にカンボジアの保健・医療セクターについては、同国の和平成立以降、我が国は国立母子保健センター（通称：ジャパンホスピタル）の建設などの無償資金協力と人材育成とその組織作りのための技術協力などを組み合わせて一貫して支援しており、その結果、国単位での保健指標の改善には著しい成果が表れているなど、同セクターにおける我が国の貢献に対する評価は高い。また、首都プノンペンと地方との格差が大きく、地方における医療サービスの向上はいまだ課題であることから、本事業に対する我が国支援への期待は大きく、これに応えることは二国間関係の一層の強化に資するため、本計画を実施する外交的意義は高い。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

カンボジアにおける公的保健医療サービスの提供体制は、内戦後の20年前と比較し質・量ともに改善し、首都プノンペンを中心に基本的保健医療サービスの提供体制が整いつつある。この結果、5歳未満児死亡率（2000年：124、2014年：35、出生1,000対、Cambodia Demographic and Health Survey 2014）の削減等、国全体では保健指標の改善の成果が上がっている。しかし首都プノンペンと地方との格差が大きく、地方における保健医療サービスの改善が課題である。

同病院は、2013年にベトナムの支援によって建設された本棟と（外科、内科、救急科）、2020年にアメリカ系カンボジア企業からの支援によって建設された産科棟から成るが、産科や外科で使用される超音波診断装置は、型式が古く、適切な産前産後の経過観察や外科診断が出来ていない状況である。また、現在同病院はX線撮影装置を有していないため、肺疾患や骨折等の診断・治療が行えず、患者たちは他病院へ行かざるを得ない状況となっている。同病院が位置するプレイノップ郡周辺では、大規模リゾート開発が進んでおり、今後労働者や国内外旅行者が増加すると共に、右に伴う就労のための人口増加も見込まれるため、地域唯一の中核病院である同病院の能力を強化することは急務となっている。被供与団体は同病院の設備整備に取り組んでいるが、同団体の予算では全ての費用を賄うことができず、今般本事業への支援要請があったものである。

カンボジア政府は「国家戦略開発計画 2014-2018」において保健分野を優先課題と位置付け、「国家保健戦略計画 2016-2020」において質の高い保健医療サービスの提供と公平なアクセスの確保を優先政策のひとつに掲げており、本事業はこれらの計画に資する事業である。なお、本計画の実施により SDGs ゴール 3 の健康な生活の確保及び 11 の包摂的、安全、強靱で、持続可能な都市と人間住居の構築に貢献することが期待される。

（3）その他特筆すべき点

本計画の対象主体であるカンボジアベトナム友好病院がカンボジア海軍の管轄下にあることから、開発協力大綱の「軍事的用途及び国際紛争助長への使用の回避」原則に照らし、協力の可否について検討を行う必要がある。同病院は、カンボジア海軍の管轄下にあるが、地域住民や国内外旅行者等を主たる診療の対象としていること等から、同原則に抵触しないと判断し、これを実施することとする。

3. 計画概要

（1）計画概要

① 計画内容

シハヌークビル州カンボジアベトナム友好病院に新たに医療資機材（X線撮影装置1台、X線画像読取・現像装置1台、超音波診断装置1台及び生体情報モニタ1台）の供与及びX線撮影室の防護工事を実施することで、同病院における医療サービスの質の改善を図り、もって周辺住民等への安全な医療環境整備に寄与するものである。

② 裨益効果

新たに医療機材が導入されることで、地域住民の同病院にて診療を受ける年間外来患者約1,400人、入院患者約700人に対する基礎的保健サービスへのアクセスが改善される。

③ 計画実施期間

4か月間

（2）その他特記事項

- 特になし

[別添資料] 地図

令和2年度：対カンボジア草の根・人間の安全保障無償資金協力
「シハヌークビル州カンボジアベトナム友好病院院機材整備計画」

